

在宅ケアに関する薬局業務の機能的特徴

大都市近郊 T 市および大都市旧市街 K 区薬剤師会

会員薬局調査からの考察

オンダ 恩田	ミツコ 光子 ^{*,2*}	カワノ 河野	コウイチ 公一 ^{2*}	ワタナベ 渡辺	タケマサ 丈眞 ^{2*}
ワタナベ 渡辺	ミスズ 美鈴 ^{2*}	アリスエ 有末	マサトシ 正敏 ^{2*}	アカシ 明石	ミツヤ 光也 ^{2*}
フクトミ 福富	アキノリ 昭伯 ^{2*}	オオウラ 大浦	キヨヒロ 清宏 ^{3*}	ホリウチ 堀内	トシタカ 俊孝 ^{4*}

在宅ケア関連業務に着目し、地域による薬局業務の機能的特徴に差があるかを検討するため、大都市近郊 T 市および大都市旧市街 K 区の薬剤師会に所属する全会員薬局（各75, 161薬局）を対象に、薬局業務の実施状況を調査し、その結果を用いて主成分分析を実施した。調査した薬局業務は、患者・介護者への服薬指導、患者への薬剤情報提供、患者の薬歴管理、処方箋調剤、医師への助言・疑義照会、特殊製剤処方の取扱い、OTC（一般用医薬品）の販売、介護用品の展示・カタログ販売、在宅医療に関する相談応需、健康教室などのイベント開催、在宅患者訪問薬剤管理指導、医療他職種との情報交換、保健福祉他職種との情報交換とした。

本調査によって次のような結果を得た。(1)両地域共に服薬指導、薬剤情報提供、薬歴管理、処方箋調剤、医師への助言・疑義照会、OTC 販売などの実施状況は比較的高かった、(2)両地域共に介護用品の展示・カタログ販売、在宅医療に関する相談応需、健康教室などのイベント開催、在宅患者訪問薬剤管理指導、他職種との情報交換などの実施状況が比較的低かった。(3)主成分分析の結果、T 市では薬局機能が 3 成分抽出され、調剤業務が薬局の機能的特徴に最も強く影響を与えているのに対し、K 区では薬局機能が 4 成分抽出され、相談応需や情報交換などの業務が薬局の機能的特徴に最も強く影響を与えていた。これらのことから、薬局業務の機能的特徴は地域によって差があることが示唆された。(4)居宅訪問薬剤管理指導などの在宅ケア関連業務を拡充するためには、他職種との情報交換を強化することが有効であることが示唆された。

Key words : 地域、薬局、薬剤師、在宅ケア

* 広島国際大学医療福祉学部医療経営学科

** 大阪医科大学衛生・公衆衛生学

† 葛飾区薬剤師会

‡ 日本大学松戸歯学部衛生学教室

連絡先：〒724-0695 広島県賀茂郡黒瀬町学園台

555-36 恩田光子